

誰もが安心して暮らせる支えあいの町

曾根東



2024~2028年

小地域福祉活動
第一次計画



ふれあいネットワーク
曾根東校区
社会福祉協議会

ごあいさつ

誰もが安心して暮らせる支えあいの町 曾根東

曾根東校区 小地域福祉活動第一次計画策定にあたり

曾根東校区は、東に神々しく輝く朝日の美しい豊前海に臨み、西に企救富士の異名を持つ貫山を仰ぎ見る事が出来る、田園風景や四つの河川が流れ込む曾根干潟等、豊かな自然環境に恵まれた所です。特に曾根干潟は絶滅危惧種で 生きた化石と呼ばれるカプトガニの生息や冬期に飛来する水鳥、又希少種のズグロカモメやクロツラヘラサギを観察する事ができます。

1977年(昭和52年)に開校した曾根東小学校の児童は自然環境の学習に熱心で、多くの賞を受けると共に曾根干潟の環境保全に取り組み、清掃活動を実施すると共に、大らかに優しく、たくましく成長をしています。

曾根東校区社会福祉協議会も47年目を迎え、ふれあいネットワーク活動推進事業委員会を小地域福祉活動の要として“誰もが安心して暮らせる支えあいの町曾根東”を目標に、見守り、話し合い、助け合いの活動を中心に様々な計画に挑戦をしながら取り組んでまいりました。

最近では社会環境も変化を続け、核家族化が進むと共に物質文化の進化、利便性の高い生活が出来た様になった反面、価値観の多様化、又人間関係の稀薄化が進んでいます。少子高齢化の進行、心や体の障害を持たれた方、誰に気付かれずに亡くなる孤独死等、聞かれる様になりました。又生活習慣病や認知症による徘徊などの問題も有ります。今回小地域福祉活動第一次計画策定にあたり、今迄の活動の見直しや精査をすると共に“自分達の地域の福祉課題は自分達で解決していく”という目標のもとに、地域関係組織や地域の方々とのより一層の連携と協力を深めて、第一次5ヶ年計画を充実した活動に努めたいと思います。

この計画の策定にあたりご協力を頂きました委員の皆様、並びにご意見を頂きました関係者の皆様に深く感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

曾根東校区社会福祉協議会
会長 三郎丸 正熙



三郎丸 正熙 会長

もくじ

ごあいさつ	
第1章	計画の策定にあたって … 1 p
1	計画の性格
2	計画の期間
3	計画の策定経過
第2章	曾根東校区の現状と課題 … 2 p
1	地域の特性と福祉課題
2	主な社会資源
第3章	計画体系 … 3 p
1	基本理念
2	基本目標
3	実施項目(体系図)
4	重点実施項目② ⑦ ⑧ ⑫
第4章	計画の推進 … 6 p
1	計画の承認と周知
2	計画を推進するための体制
3	第二次計画の策定
4	曾根東校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿
5	曾根東校区小地域福祉活動計画の策定状況(参考資料)

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 誰もが安心して暮らせる支えあいの町づくり計画

この計画は、曾根東校区の住民が「誰もが安心して暮らせる支えあいの町」になれるよう、様々な地域課題、福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しをもって計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、曾根東校区に住む人たちの「生活」をささえることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 曾根東校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和6～令和10年度までの5ヶ年とします。

計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

曾根東校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、地域福祉に関する計画を策定するため、曾根東校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。令和5年6月1日の役員会をはじめ、最大38名が参加した同委員会(ふれあいネットワーク活動推進事業委員及び民生委員・自治会会長)等において、10回に及ぶ協議の上、曾根東校区小地域福祉活動計画を策定しました。(参考資料を参照)

第2章 曾根東校区の現状と課題

1 地域の特性と福祉課題

曾根東校区では北九州空港跡地の開発事業が進み、九州労災病院、マンション、新興住宅と街は大きく変わりました。自然豊かな曾根干潟はカブトガニの生育地・渡り鳥の飛来地として環境教育にも成っております。一方、漁業中心の集落もあり高齢化が進みサロン活動参加への声かけ訪問をしています。

現在、伝統文化行事として 北九州市無形民俗文化財に指定された曾根の神幸祭も200年の歴史があり風鎮潮留・五穀豊穰の祈願祭として毎年5月3日に綿都美神社にて7つの地区から人形飾り山笠が集結し地域一丸となって賑わって居ります。

次世代地域福祉活動者育成事業として曾根東小学校4年生～6年生を対象にウェルクラブを結成し、老健施設を訪問し、ボランティア活動をしています。

福祉課題として、福祉活動者の不足が心配されます。

2 主な社会資源

教育機関	曾根東小学校	曾根中学校		
医療機関	九州労災病院 等			
その他	曾根東市民センター そねっと（図書館）	曾根体育館 小倉南区役所曾根出張所		
主な商店など	ダイレックス	リブホール (旧マルシヨク曾根店)	コスモス	トライアル

基本理念

誰もが安心して暮らせる支えあいの町曾根東

基本目標 I

地域の福祉力を高めよう

- ① 福祉協力員の学習研修
研修会 勉強会など
- ② 見守り活動の強化
見守り対象世帯の把握
地域団体との連携
- ③ 連絡調整会議の充実
地域の課題 早期解決と情報交換
各地区での分科会
- ④ 活動者の人材確保と育成
地域の行事を通してのPR活動など

基本目標 II

地域の暮らしをより豊かに

- ⑤ 高齢者買い物支援の促進
福祉施設との連携 福祉協力員の補助確立
- ⑥ ふれあい昼食交流会 演芸鑑賞企画
参加者対象の健康講座 血圧測定
- ⑦ 地域交流の推進
市民センターふれあいまつり参加
地域清掃活動
サロン活動の推進

基本目標 III

安心・安全なまちづくり

- ⑧ 災害時の避難対策 避難場所
- ⑨ 登下校時の通学見守りパトロール
まちづくり協議会による夜間パトロール
ふれあいネットワーク活動見守り活動の強化
- ⑩ 地域での防犯 生活安全
振り込め詐欺 防犯の情報提供

基本目標 IV

次世代地域福祉活動者育成事業

- ⑪ 世代間地域交流事業の推進
市民センターふれあいまつり参加
地域清掃活動 次世代地域福祉活動者育成
- ⑫ ウェルクラブ活動

重点実施項目 1	②見守り活動の強化						
1 課題・背景(重点目標とした理由)							
現在曾根東校区は高齢化が進み、見守りの人数にたいして、福祉協力員が不足。 民生委員児童委員、町内会長とが一丸となり、校区の見守り体制を強めていく必要がある。							
2 活動の方針・目標							
曾根東校区では、地域の団体と連携して見守り対象世帯の見える化をして、地域の見守り活動が出来るようにし、各問題点の早期発見、情報交換、早期解決をはかる。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
見守り活動の強化	まちづくり協議会 民児協 区社協		→		→		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉力を高めるため、見守り活動を行う福祉協力員の人材発掘 ・町内との情報を共有現在よりさらに強化していく
福祉協力員の人材確保			→		→		
連絡調整会議の充実			→		→		

重点実施項目 2	⑦地域交流の推進						
1 課題・背景(重点目標とした理由)							
5年の間にはふれあい昼食交流会を再開し、地域の方とのふれあいの場をもうけるほか、 全員参加型の健康講座・演芸鑑賞企画など行い弱者高齢者サービスの情報通信・防犯を強化する必要がある							
2 活動の方針・目標							
ふれあいの集いを通して親睦を図り又、健康面やレクレーション・防犯の学び 福祉施設との連携、情報収集、対策と行動を進める							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
ふれあいの集い	まちづくり協議会 民児協 区社協 好日苑		→		→		<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい昼食会の開催 ・定期的な健康診断 ・防犯講座
高齢者買い物支援			→		→		
ふれあいの集いで学び			→		→		



重点実施項目 3	⑧災害時の避難対策 避難場所						
1 課題・背景(重点目標とした理由) 2 活動の方針目標							
みんなで力を合わせ、お互いを思いやり自然災害の犠牲者ゼロの曾根東校区にしよう							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
<p>みんなで災害の兆しや不安を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・《水害高潮津波》避難の違いを認識 ・連絡網の作成 ・みんなで逃げる事を決める ・避難する事を伝え連絡先を確認 	<p>まちづくり協議会 民児協 区社協 好日苑</p>						<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで力を合わせ、お互いを思いやり自然災害の犠牲者ゼロの曾根東校区にしよう ・『年に一度防災に関する研修会の実施』

重点実施項目 4	⑫ウェルクラブ活動						
1 課題・背景(重点目標とした理由)							
<p>現在のウェルクラブ活動の行事を活性化、地域の行事参加を増やしていきたい</p> <p>乳幼児との交流ではウェルクラブの皆さんの個性が発揮された 更にサポートしていきたい</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>地域住民自らが、次世代の福祉活動者を育てるとともに、住民主体による福祉の風土づくり、まちづくりを推進し、地域の支えあい活動に参画する子供たちの活動をサポート 多世代交流を図る</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
ふれあいまつり参加	<p>まちづくり協議会 民児協 区社協 好日苑</p>						<p>ふれあいまつり綿菓子販売や多世代交流、地域での福祉活動参加 発表会体験など活動の場を増やしていく</p>
地域の清掃活動							
よちよちペンギンクラブの親子遊び参加							
好日苑でのふれあい高齢者疑似体験							



第4章 計画の推進

1 計画の承認と周知

- ①曾根東校区社会福祉協議会ふれあいネットワーク連絡調整会議を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ②計画を実施する上で関係機関・団体への周知・協力依頼

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進事業委員会の設置

計画を推進していくために、曾根東校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、必要に応じ、計画の進行管理を行い連絡調整会議での連携を図ります。

- ①関係機関・団体との連携
- ②計画内容の具体的な計画、実施
- ③進行管理の実施

(2) 計画の評価

計画期間では計画全体の見直しを考慮しながら進めます。

計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けて協議を進めていきます。

4 曾根東校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職
1	三郎丸 正熙	曾根東校区社会福祉協議会・自治連合会（下曾根）	会長
2	門田 和男	曾根東校区社会福祉協議会ふれあいネットワーク活動推進事業委員会	委員長
3	水野 壽治	曾根東校区 自治会（中里）	会長
4	廣瀬 朋子	曾根東校区 自治会（新曾根）	会計
5	尾倉 義則	曾根東校区 自治会（中曾根東）	会長
6	岡山 久寿	曾根東校区 自治会（新田）	会長
7	上田 裕子	曾根東地区 民生委員児童委員協議会	会長
8	伊藤 満幸	曾根東校区社会福祉協議会ふれあいネットワーク活動推進事業委員会	副委員長
9	角田 智子	曾根東校区社会福祉協議会ふれあいネットワーク活動推進事業委員会	会計
10	鉄見 敦子	曾根東校区社会福祉協議会ふれあいネットワーク活動推進事業委員会	書記
11	佐藤 恵子	曾根東市民センター	館長

5 曾根東校区小地域福祉活動計画の策定状況

(参考資料)

回	開催日	参加人数	種別	主な協議事項
1	6月1日	5名	役員会	計画策定スケジュールについて
2	6月21日	30名	策定委員会	これから取り組みたい行事について協議 グループワーク 行事のアンケート
3	7月21日	5名	役員会	計画策定スケジュールについて 行事ランキングについての説明 困りごとアンケート
4	7月28日	38名	策定委員会	これから取り組みたい行事について協議 グループワーク困りごとランキング
5	8月18日	6名	役員会	第3章 第一次計画の体系図について協議 重点実施項目②・⑦について協議
6	8月25日	30名	策定委員会	第3章 第一次計画の体系図について協議意見交換 重点実施項目②・⑦について協議意見交換
7	9月16日	6名	役員会	重点実施項目⑧・⑫について説明 第2章 地域の特性や福祉課題について
8	10月27日	26名	策定委員会	重点実施項目⑧・⑫について協議 第2章 地域の特性や福祉課題について協議意見交換
9	11月6日	6名	役員会	計画書最終確認
10	11月24日	30名	策定委員会	計画書最終確認 計画配布・広報について

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』(Petit vo saurus)

Petit (プチ:ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

曾根東校区社会福祉協議会

〒800-0217 北九州市小倉南区下曾根 4 丁目 22 番 3 号 曾根東市民センター内
TEL 093-471-7710 FAX 093-471-7602

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園 5 丁目 1 番 2 号
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号ウエルとばた内
(代 表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351
<http://www.kitaa-shakyo.or.jp/>



ふれあいネットワーク